

教科	学校名	職名	氏名	派遣先	期間	研修内容	
商業	県立平商業高校	教諭	鈴木勝彦	株式会社日立製作所	7月30日～ 8月9日	COBL中級をベースとする情報処理研修	
	県立喜多方商業高校	教諭	吉田陽一	〃			
	〃	教諭	近藤芳喜代	〃			
	〃	県立若松商業高校	教諭	吉田七郎	中央電子株式会社	〃	電子計算機利用によるシステム設計
	〃	県立郡山商業高校	教諭	半沢一郎			
	〃	県立福島商業高校	教諭	山川良三			
	〃	県立本宮高校	教諭	佐藤敬義			
	〃	県立郡山商業高校	教諭	渡辺卓吉	東京芝浦電気株式会社	〃	経営数学の講義と実習
	〃	〃	教諭	鈴木暉夫			
	〃	県立福島商業高校	教諭	桜山三千男			
家庭	県立福島西女子高校	教諭	甲野藤ノブ	ライオン家庭科学研究所	8月5日～9日	被服材料並びに洗浄に関する実験	
	県立福島女子高校	教諭	渋谷ミセ	〃			
	〃	県立小高高校	教諭	村井八重子	蛇ノ目ミシン工業KK	8月19日～24日	被服縫製に関する理論と実習
	〃	県立郡山聾学校	教諭	菅野洋子			
	〃	県立安達東高校	教諭	紺野タミ			
	〃	県立福島中央高校	教諭	鈴木万璃子	昭和産業株式会社	8月1日～10日	でんぶん並びに油脂に関する実験
	〃	県立会津農林高校	教諭	阿部弘美			
	〃	県立船引高校	教諭	佐藤弘子	県公害衛生研究所	8月19日～24日	食品衛生に関する講義並びに実験
	〃	県立福島盲学校	教諭	吉田和子			
	〃	県立若松女子高校	教諭	瓜生恵子			

(2) 県主催の研修講座とその内容

① 昭和49年度産業教育現代化講習会

ア、目的

産業教育に関する現状を分析し、将来の方向についての研究協議を行い、関係教科・科目担当教員の指導力の向上に資する。

イ、期日・会場・参加人員

期日 昭和49年10月30日(木)～11月1日(金)
会場 国立磐梯青年の家
参加人員 農業16名 工業21名 商業17名
家庭18名 計 72名

ウ、研究主題

「実験・実習の学習の管理と運営について」

エ、講師・助言者

福島県企画開発部長 友田 昇
県立福島農蚕高校教諭 大竹 吉人
県立二本松工業高校教諭 竹内 正夫
県立福島西女子高校教諭 寺島 博隆
県立四倉高校教諭 中島 孝子
各教科担当指導主事 4名

② 昭和49年度産業教育実習担当教員研修会

ア、目的

農業・工業における実習について、その指導内容や方法の研究とともに、技術・技能の実技研修を行い、担当教員の資質の向上を期する。

イ、期日・会場・参加人員

部会	期日	会場	参加人員
農業	50年2月3日～4日	県立岩瀬農業高校	46名
工業	49年8月26日～28日	県立福島工業高等学校	13名

ウ、講師・助言者

農業 福島県立岩瀬農業育等学校長 鈴木 健三郎
工業 福島県立福島工業高等学校教諭 津守 英夫
その他 農業・工業担当指導主事

2 文部省教育課程研究指定校(水産)

(1) 趣旨

高等学校における教育課程並に学習指導の方法等について調査研究を行い、もって高等学校教育の改善及び充実に資する。

(2) 研究主題・期間

昭和48年度と49年度の2年間、本年は第2年次

(3) 指定校・研究主題・研究内容

- 指定校 福島県立小名浜水産高等学校
- 主題 無線通信科における教育課程の編成と学習指導について
- 内容 水産業の近代化に即応する水産教育特に無線通信科の教育推進のため、全国水産高等学校並びに当該校の実態、生徒の実態等の調査研究に基づき教育課程の編成はどうあるべきか、また、総合実習を中心とする学習指導法をどのように改善したらよいか、研究実践する。

第11節 定時制・通信制教育

後期中等教育の機会を広く勤労青少年に与えるための定時